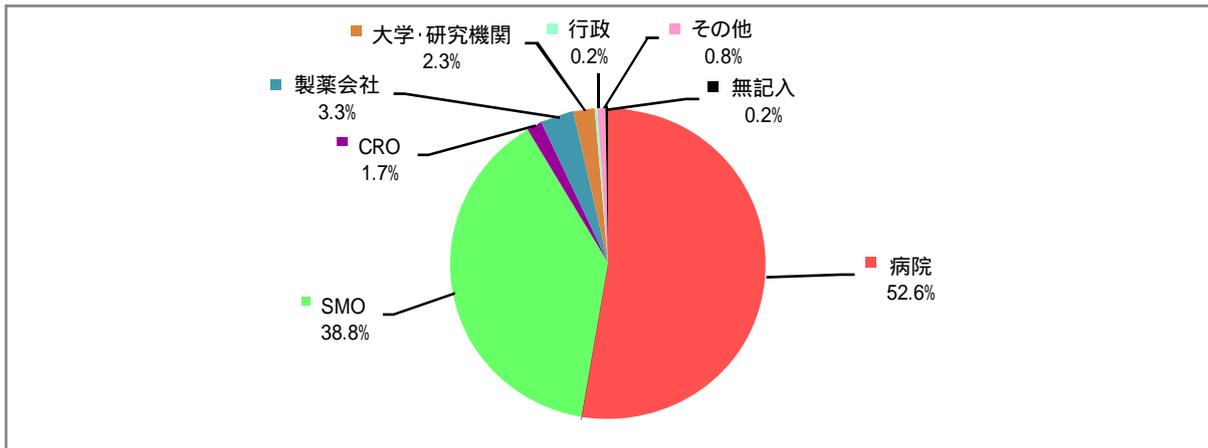


# 第8回CRCと臨床試験のあり方を考える会議 2008 in 金沢 アンケート集計結果

参加者数: 2,200名 (事前登録: 1,839名、当日参加: 361名)  
回答件数 = 479枚 回答率: 21.7%

## 1. あなたの所属は何ですか？

	全体	病院	診療所	SMO	CRO	製薬会社	大学・研究機関	行政	その他	無記入
回答数	479	252	0	186	8	16	11	1	4	1
構成比	100.0%	52.6%	0.0%	38.8%	1.7%	3.3%	2.3%	0.2%	0.8%	0.2%

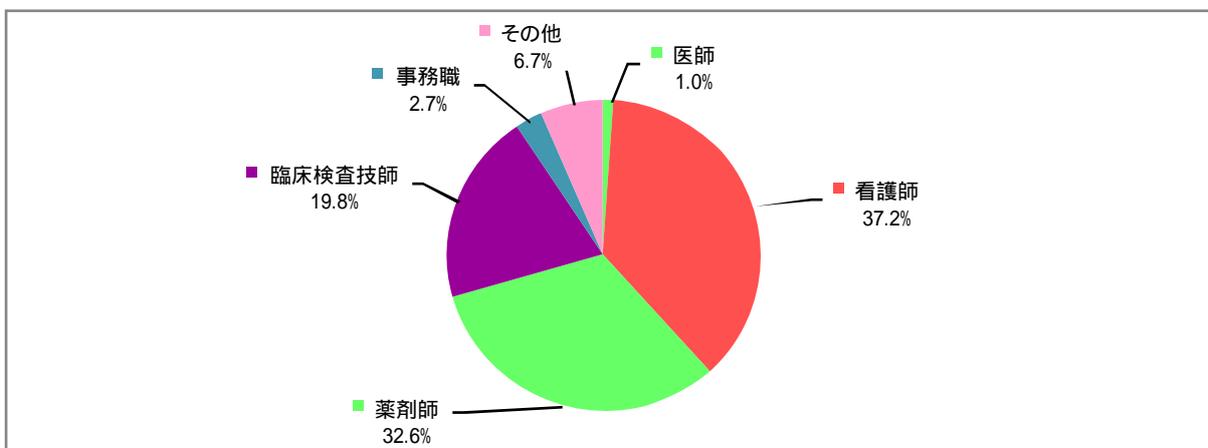


【「その他」詳細】

元SMO、医療機器会社

## 2. あなたの職種は何ですか？

	全体	医師	看護師	薬剤師	臨床検査技師	事務職	その他	無記入
回答数	479	5	178	156	95	13	32	0
構成比	100.0%	1.0%	37.2%	32.6%	19.8%	2.7%	6.7%	0.0%

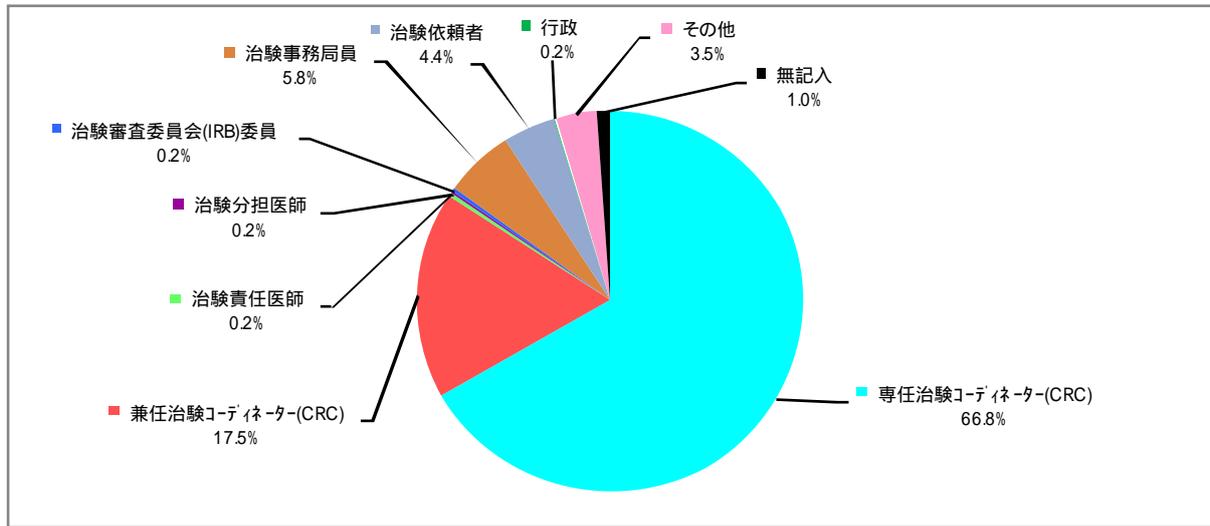


【「その他」詳細】

認定CRC (7)、モニター (2)、管理栄養士 (2)、栄養士 (2)、CRA (2)、教育研修責任者 + 人事総務、会社員、理系修士、SMO役員、データマネジャー (CDM)、農学修士、診療放射線技師、QC、監査担当者、GCP監査

### 3. 現在、あなたは治験と主にどのような関わりをもっていますか？

	全体	専任治験 コーディネーター (CRC)	兼任治験 コーディネーター (CRC)	治験 責任医師	治験 分担医師	治験審査 委員会(IRB) 委員	治験 事務局員	治験 依頼者	行政	その他	無記入
回答数	479	320	84	1	1	1	28	21	1	17	5
構成比	100.0%	66.8%	17.5%	0.2%	0.2%	0.2%	5.8%	4.4%	0.2%	3.5%	1.0%



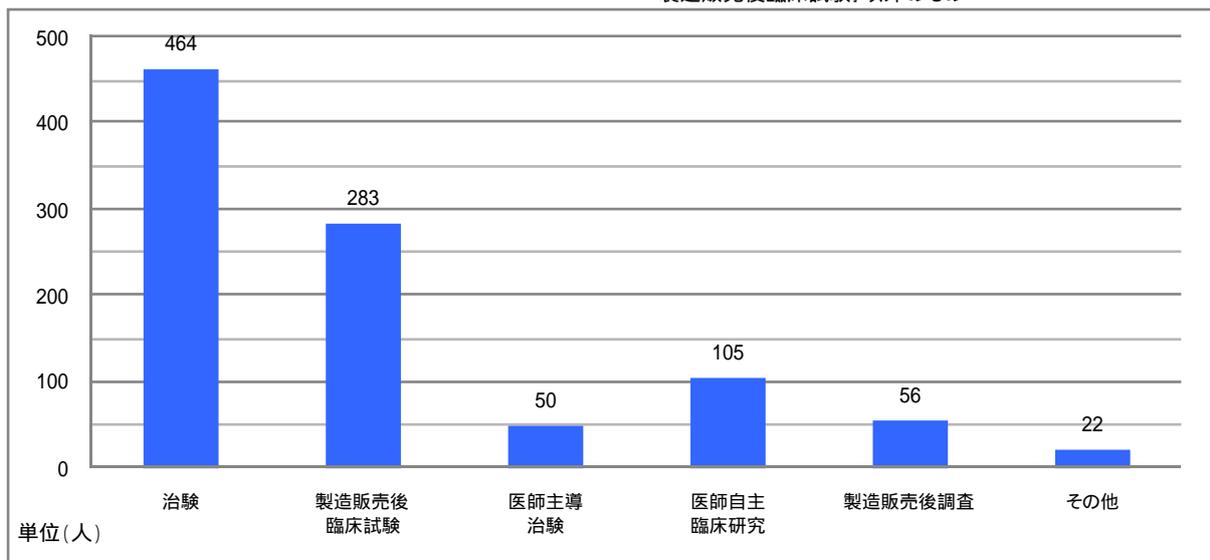
#### 【「その他」詳細】

データマネージャー (LDM)、スポンサー、QC QA、施設管理、治験薬調剤、SMA、CRC勉強中、担当検査技師、CRA、治験薬管理者、GPC監査

### 4. どのような試験・調査に係わっていますか？ (複数回答)

	全体	治験	製造販売後 臨床試験	医師主導 治験	医師自主 臨床研究	製造販売後 調査( )	その他
回答数	980	464	283	50	105	56	22
構成比	100.0%	47.3%	28.9%	5.1%	10.7%	5.7%	2.2%

「製造販売後臨床試験」以外のもの

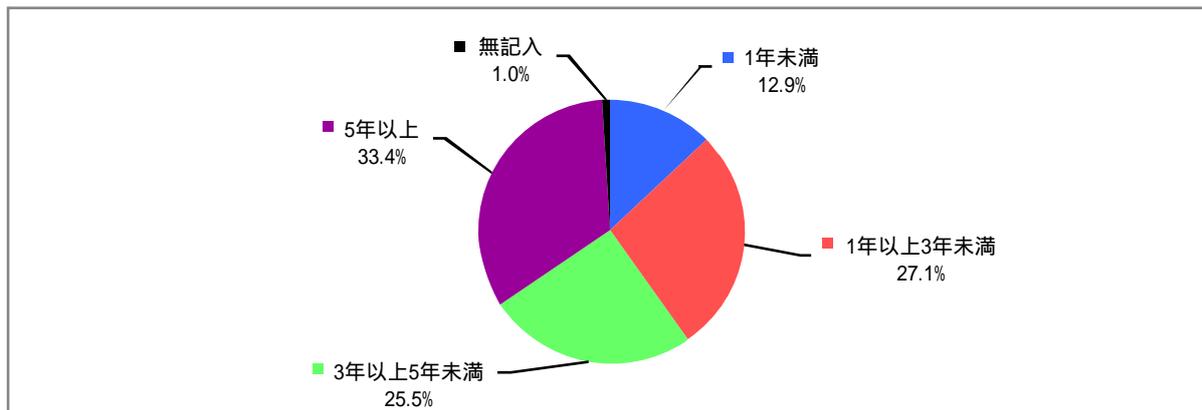


#### 【「その他」詳細】

腎・財団主催臨床研究(4)、4以外の臨床研究(4)、疫学調査(3)、食品試験(3)、国際共同治験(2)、係わっていない(2)、大規模臨床研究、研究会大規模臨床研究、大規模臨床試験、企業による臨床試験、J-DOIT3、特保、TR、医療機器PMS

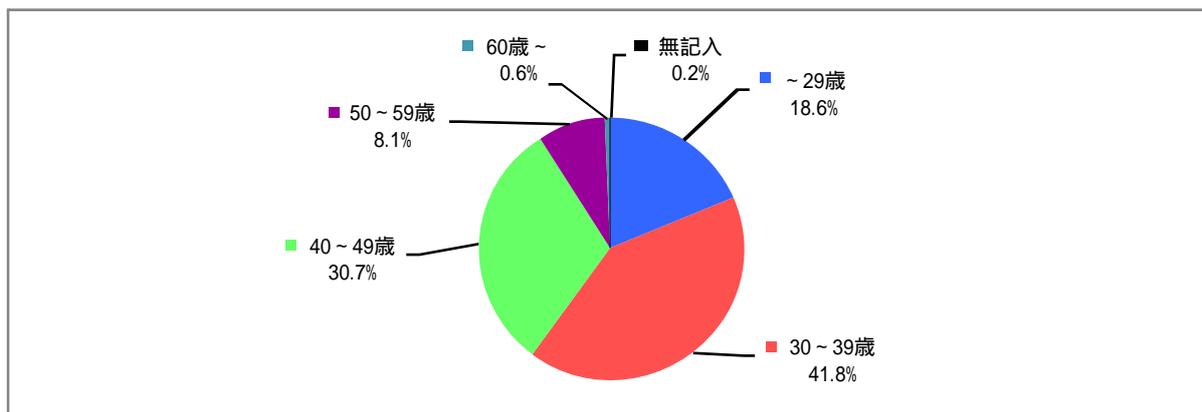
## 5. あなたの治験関連業務の経験年数は？

	全体	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上	無記入
回答数	479	62	130	122	160	5
構成比	100.0%	12.9%	27.1%	25.5%	33.4%	1.0%



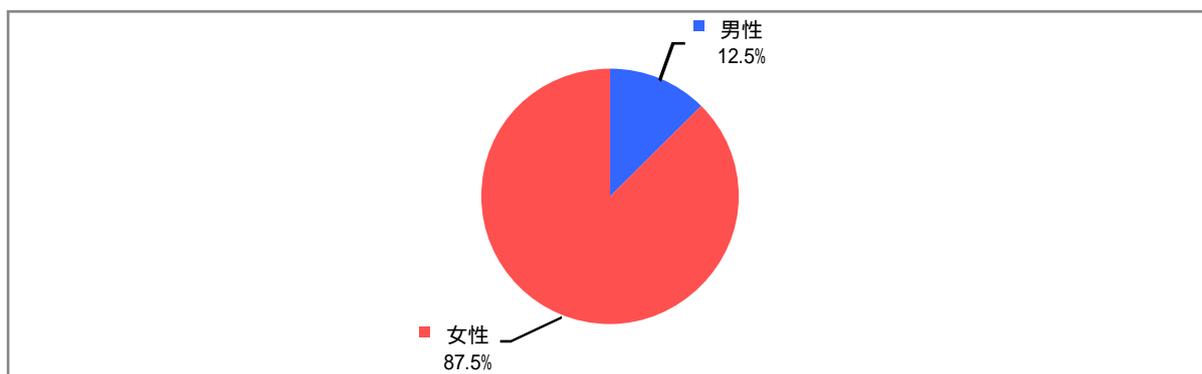
## 6. あなたの年齢は？

	全体	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	無記入
回答数	479	89	200	147	39	3	1
構成比	100.0%	18.6%	41.8%	30.7%	8.1%	0.6%	0.2%



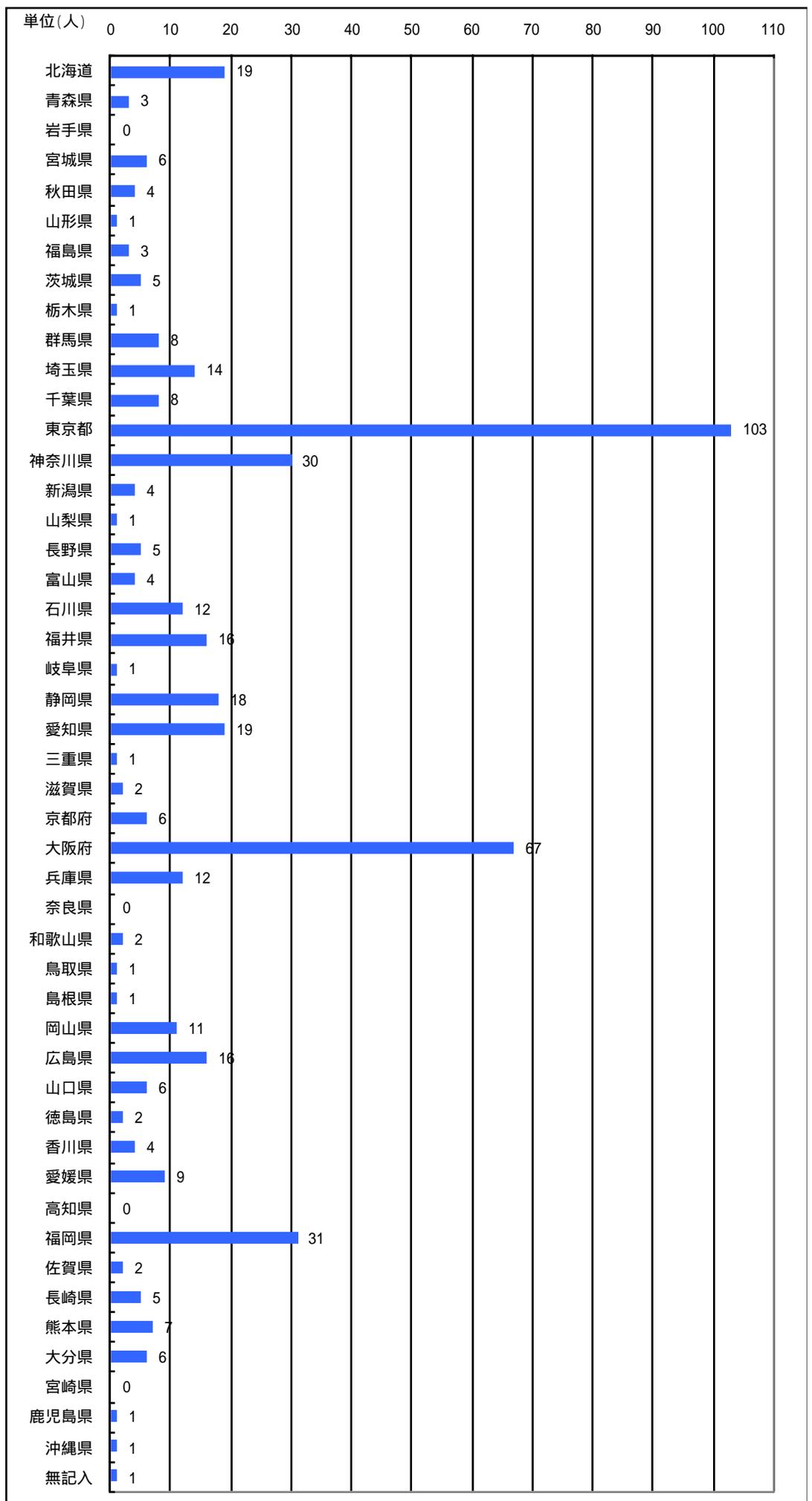
## 7. あなたの性別は？

	全体	男性	女性
回答数	479	60	419
構成比	100.0%	12.5%	87.5%



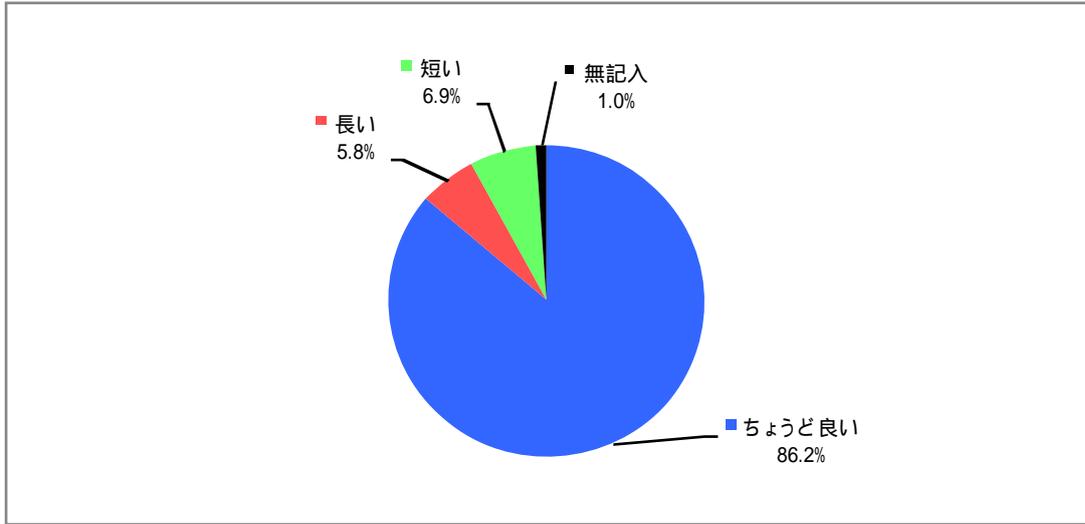
## 8. あなたの所属施設の所在地は？

	回答数	構成比
北海道	19	4.0%
青森県	3	0.6%
岩手県	0	0.0%
宮城県	6	1.3%
秋田県	4	0.8%
山形県	1	0.2%
福島県	3	0.6%
茨城県	5	1.0%
栃木県	1	0.2%
群馬県	8	1.7%
埼玉県	14	2.9%
千葉県	8	1.7%
東京都	103	21.5%
神奈川県	30	6.3%
新潟県	4	0.8%
山梨県	1	0.2%
長野県	5	1.0%
富山県	4	0.8%
石川県	12	2.5%
福井県	16	3.3%
岐阜県	1	0.2%
静岡県	18	3.8%
愛知県	19	4.0%
三重県	1	0.2%
滋賀県	2	0.4%
京都府	6	1.3%
大阪府	67	14.0%
兵庫県	12	2.5%
奈良県	0	0.0%
和歌山県	2	0.4%
鳥取県	1	0.2%
島根県	1	0.2%
岡山県	11	2.3%
広島県	16	3.3%
山口県	6	1.3%
徳島県	2	0.4%
香川県	4	0.8%
愛媛県	9	1.9%
高知県	0	0.0%
福岡県	31	6.5%
佐賀県	2	0.4%
長崎県	5	1.0%
熊本県	7	1.5%
大分県	6	1.3%
宮崎県	0	0.0%
鹿児島県	1	0.2%
沖縄県	1	0.2%
無記入	1	0.2%
全体	479	100.0%



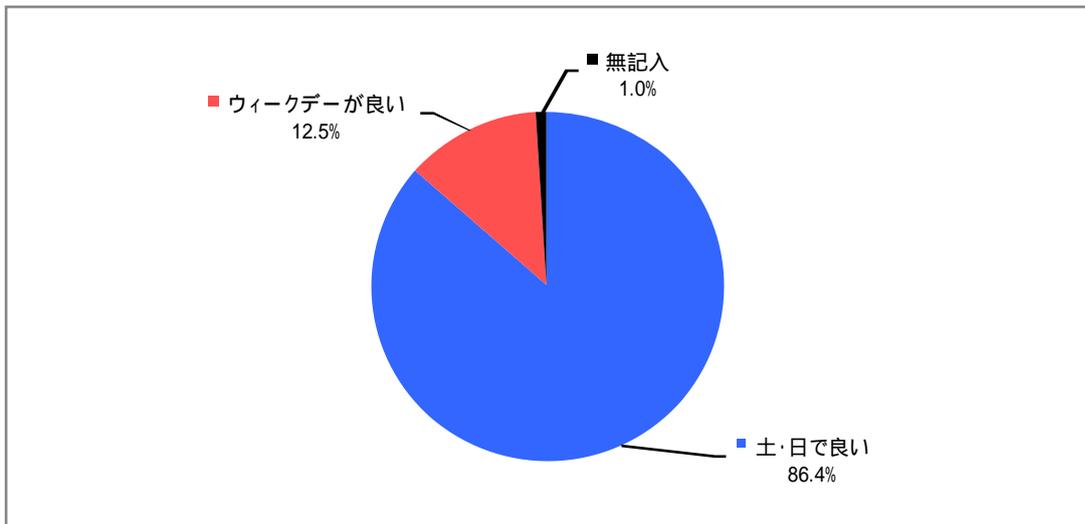
## 9. 開催期間(1日半)について

	全体	ちょうど良い	長い	短い	無記入
回答数	479	413	28	33	5
構成比	100.0%	86.2%	5.8%	6.9%	1.0%



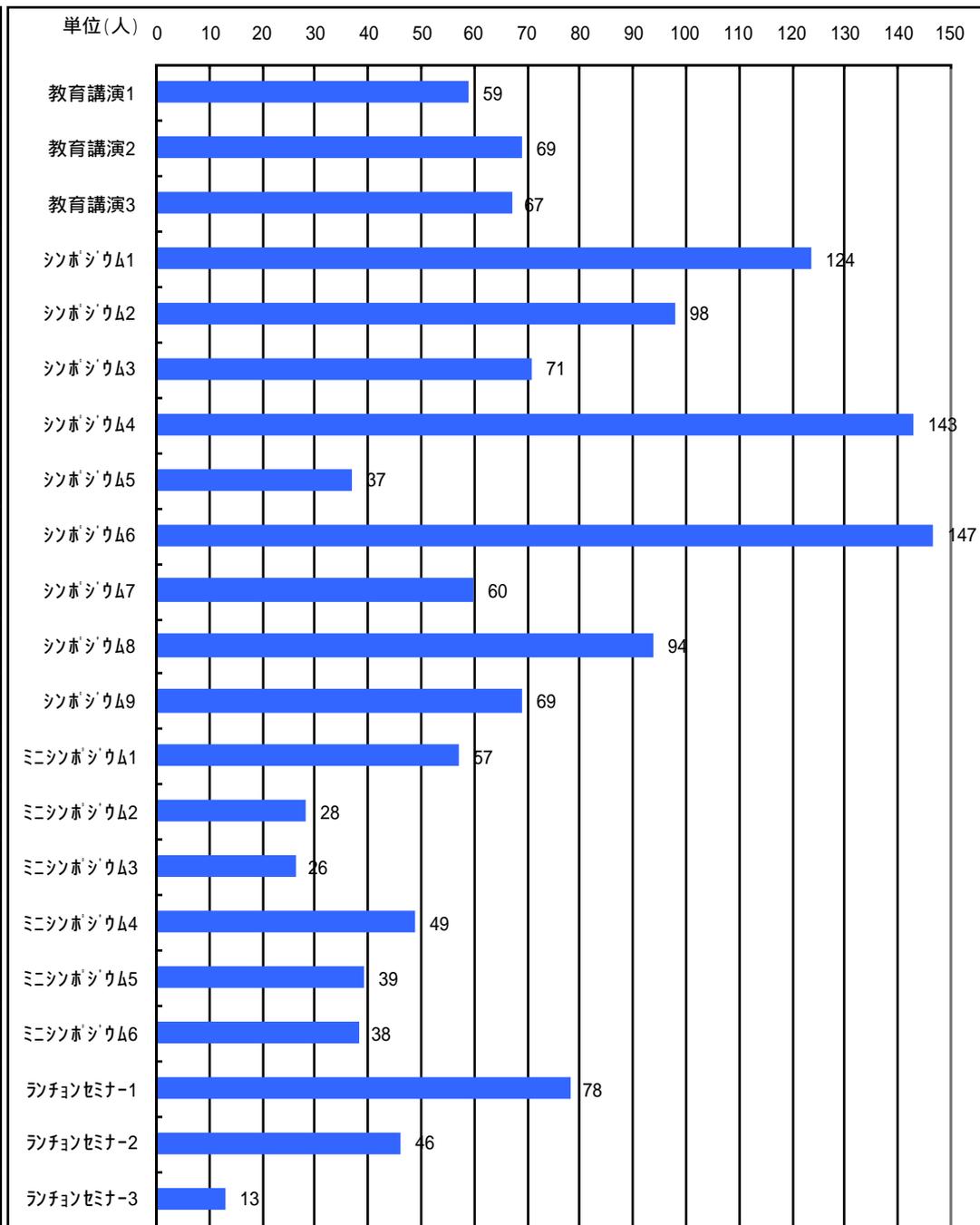
## 10. 開催曜日について

	全体	土・日で良い	ウィークデーが良い	無記入
回答数	479	414	60	5
構成比	100.0%	86.4%	12.5%	1.0%



11-1. 関心の高かったプログラムは？ (複数回答)

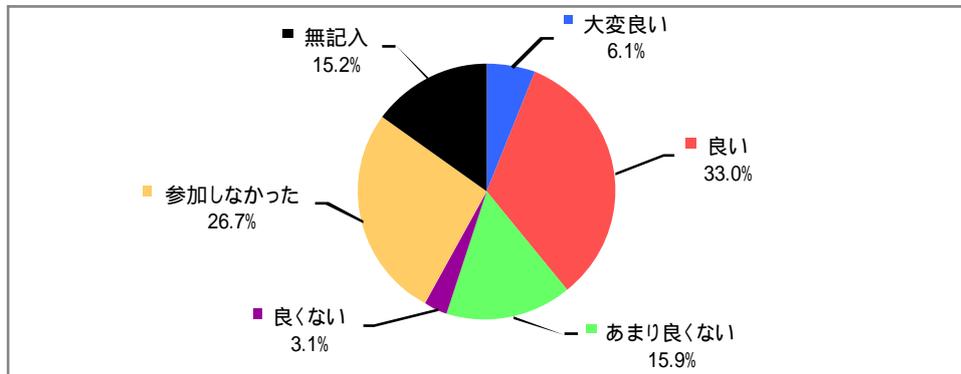
	回答数	構成比
教育講演1	59	4.2%
教育講演2	69	4.9%
教育講演3	67	4.7%
シンポジウム1	124	8.8%
シンポジウム2	98	6.9%
シンポジウム3	71	5.0%
シンポジウム4	143	10.1%
シンポジウム5	37	2.6%
シンポジウム6	147	10.4%
シンポジウム7	60	4.2%
シンポジウム8	94	6.7%
シンポジウム9	69	4.9%
ミニシンポジウム1	57	4.0%
ミニシンポジウム2	28	2.0%
ミニシンポジウム3	26	1.8%
ミニシンポジウム4	49	3.5%
ミニシンポジウム5	39	2.8%
ミニシンポジウム6	38	2.7%
ランチョンセミナー1	78	5.5%
ランチョンセミナー2	46	3.3%
ランチョンセミナー3	13	0.9%
全体	1,412	100%



## 11-2. 各プログラムの評価

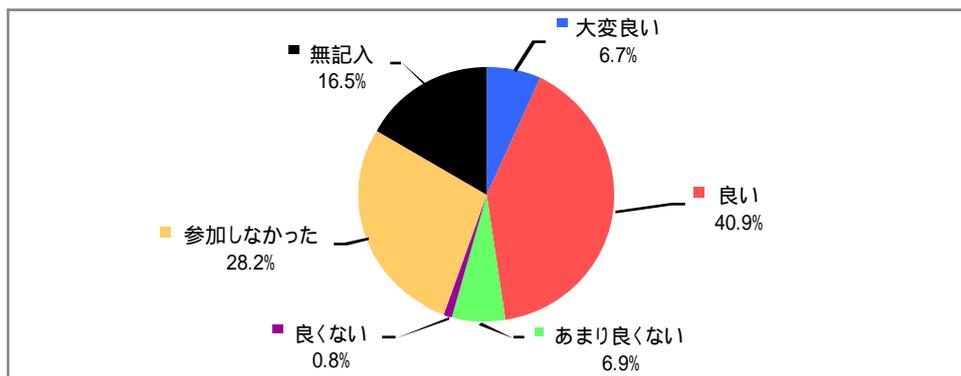
### ・教育講演1: 臨床研究エビデンスを医療技術評価にどう活用するか 世界の動向とわが国の現状

	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	29	158	76	15	128	73
構成比	100.0%	6.1%	33.0%	15.9%	3.1%	26.7%	15.2%



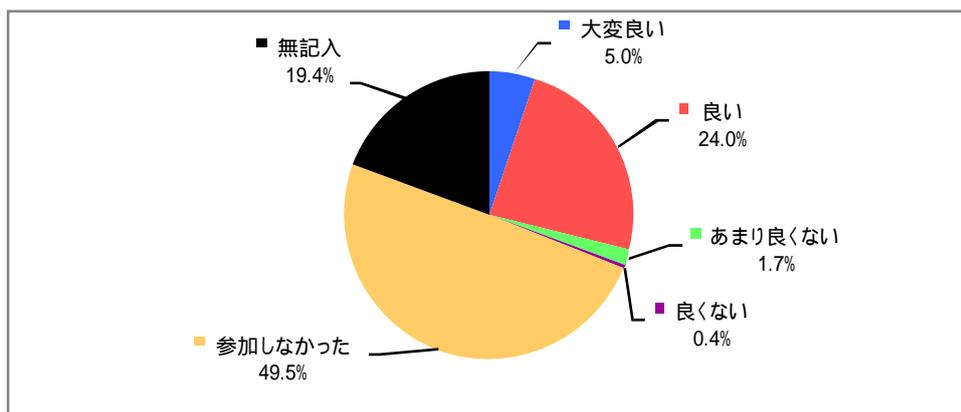
### ・教育講演2: 厚生労働省・文部科学省から

	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	32	196	33	4	135	79
構成比	100.0%	6.7%	40.9%	6.9%	0.8%	28.2%	16.5%



### ・教育講演3: 医療機器治験

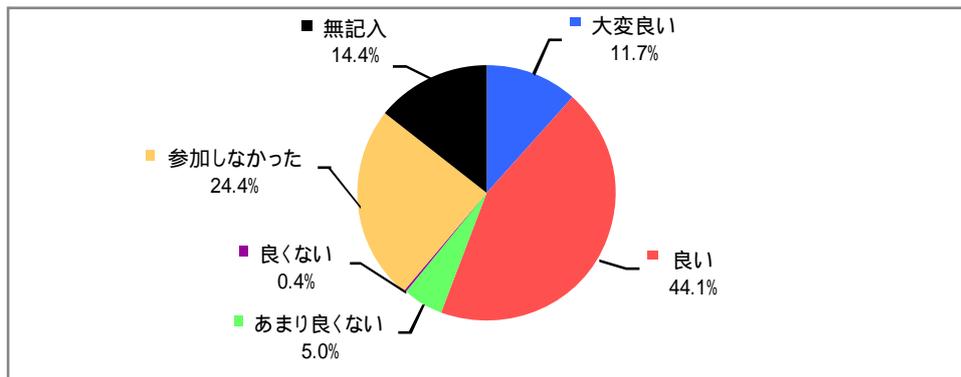
	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	24	115	8	2	237	93
構成比	100.0%	5.0%	24.0%	1.7%	0.4%	49.5%	19.4%



・シンポジウム1: 世界の臨床試験の現状とCRCの係わり

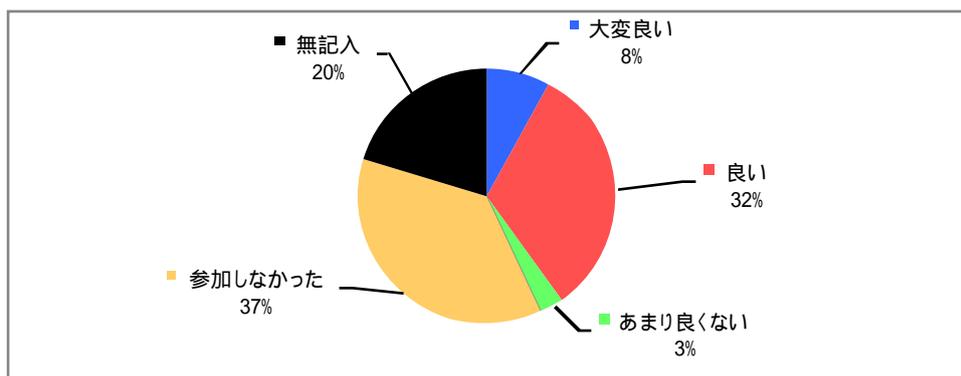
～国際化に向けて日本のCRCの強みと弱点を認識するために～

	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	56	211	24	2	117	69
構成比	100.0%	11.7%	44.1%	5.0%	0.4%	24.4%	14.4%



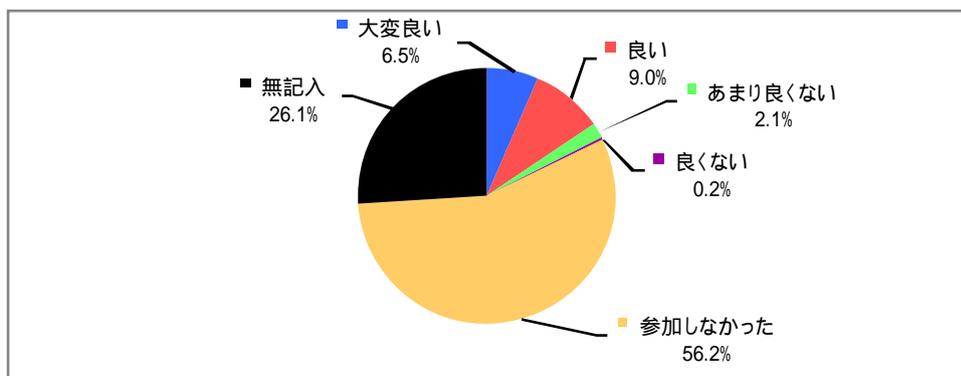
・シンポジウム2: 国際共同治験: 現場に求められること

	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	39	152	15	0	176	97
構成比	100.0%	8.1%	31.7%	3.1%	0.0%	36.7%	20.3%



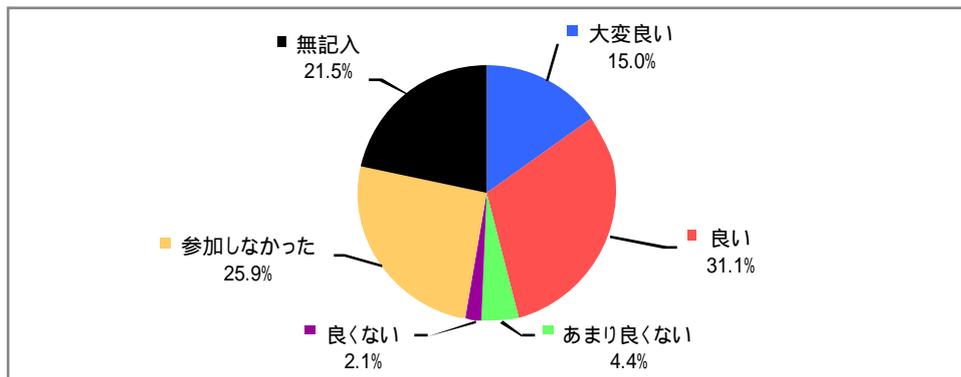
・シンポジウム3: 臨床研究に関わる人材の育成

	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	31	43	10	1	269	125
構成比	100.0%	6.5%	9.0%	2.1%	0.2%	56.2%	26.1%



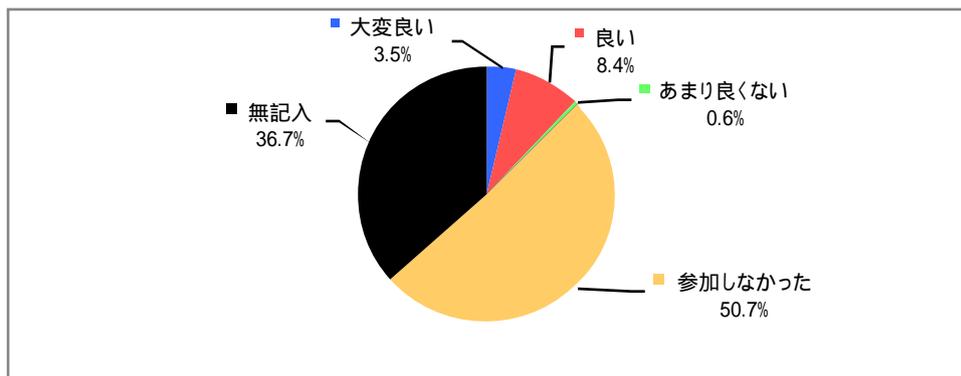
・シンポジウム4: CRCのためのグローバル試験入門～他では聞けないホントの話～

	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	72	149	21	10	124	103
構成比	100.0%	15.0%	31.1%	4.4%	2.1%	25.9%	21.5%



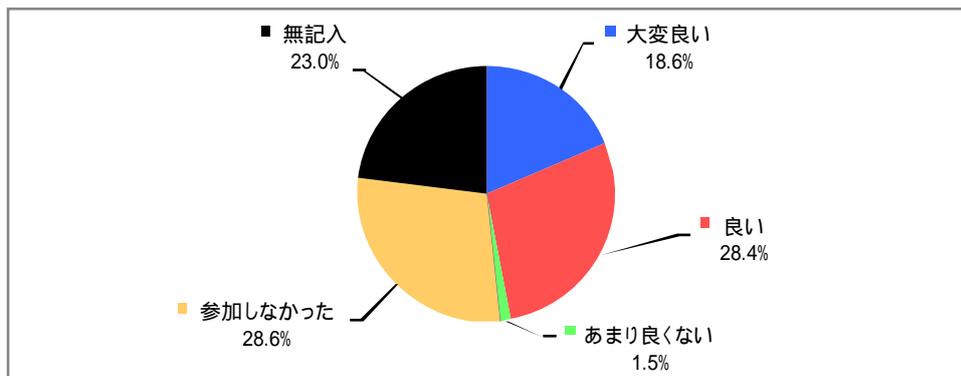
・シンポジウム5: 医師主導治験の実施体制～研究者主導臨床試験への参画を考える～

	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	17	40	3	0	243	176
構成比	100.0%	3.5%	8.4%	0.6%	0.0%	50.7%	36.7%



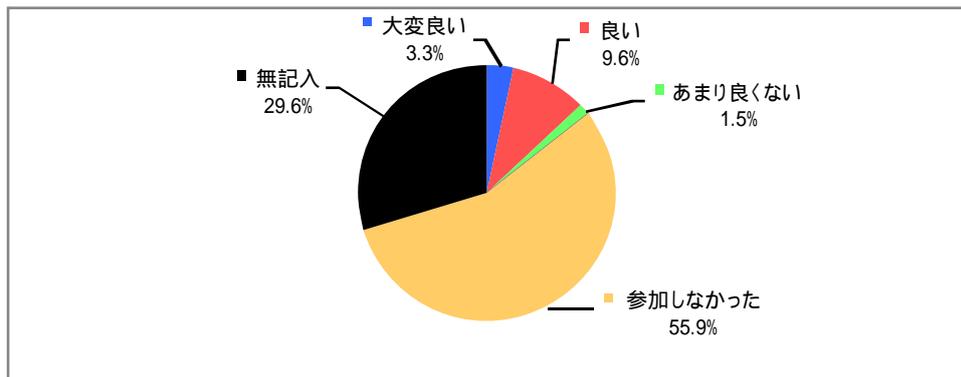
・シンポジウム6: オーバークオリティ～どうする？どうなる？「SDV」と「逸脱」～

	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	89	136	7	0	137	110
構成比	100.0%	18.6%	28.4%	1.5%	0.0%	28.6%	23.0%



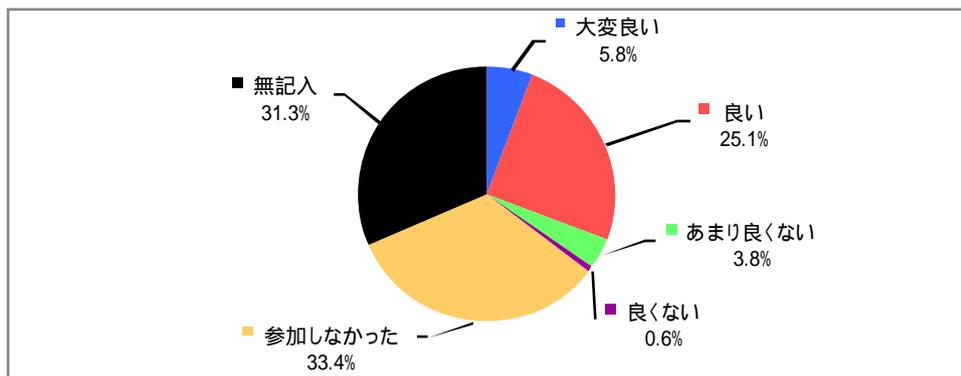
・シンポジウム7: IRB機能の充実～国際共同治験を踏まえて～

	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	16	46	7	0	268	142
構成比	100.0%	3.3%	9.6%	1.5%	0.0%	55.9%	29.6%



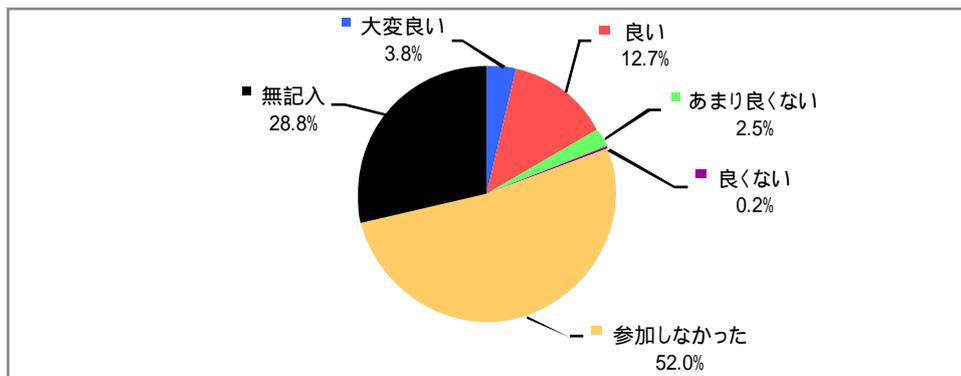
・シンポジウム8: 適正な業務分担

	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	28	120	18	3	160	150
構成比	100.0%	5.8%	25.1%	3.8%	0.6%	33.4%	31.3%



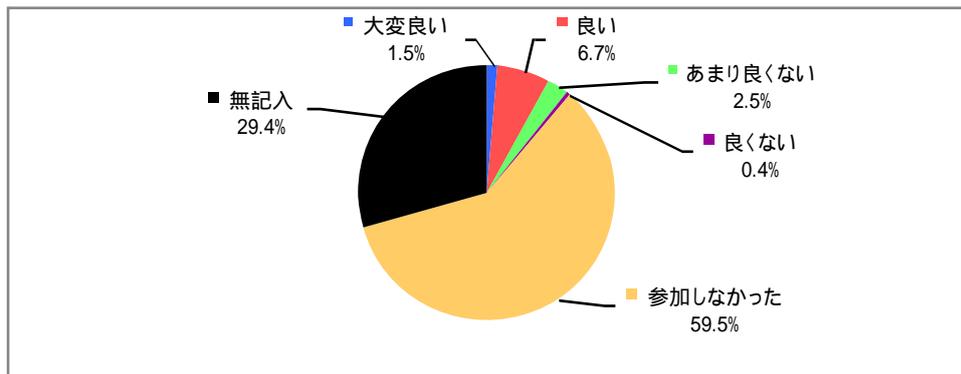
・シンポジウム9: CRCのこれから - 活性化へ向けての環境作り

	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	18	61	12	1	249	138
構成比	100.0%	3.8%	12.7%	2.5%	0.2%	52.0%	28.8%



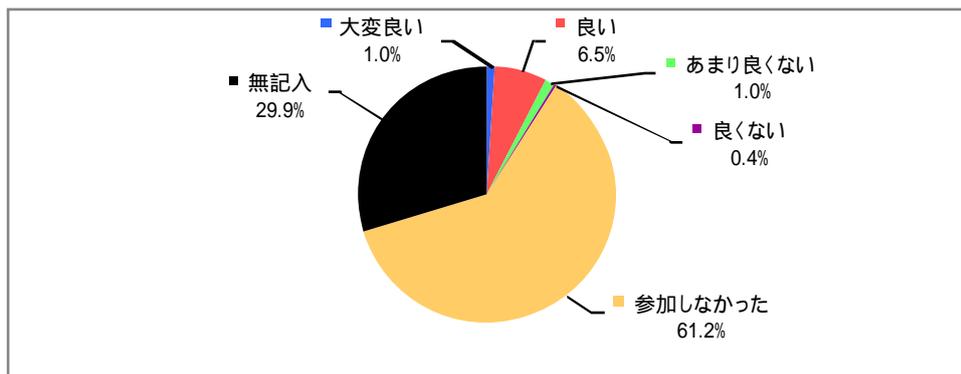
・ミニシンポジウム1: CRC業務上の工夫

	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	7	32	12	2	285	141
構成比	100.0%	1.5%	6.7%	2.5%	0.4%	59.5%	29.4%



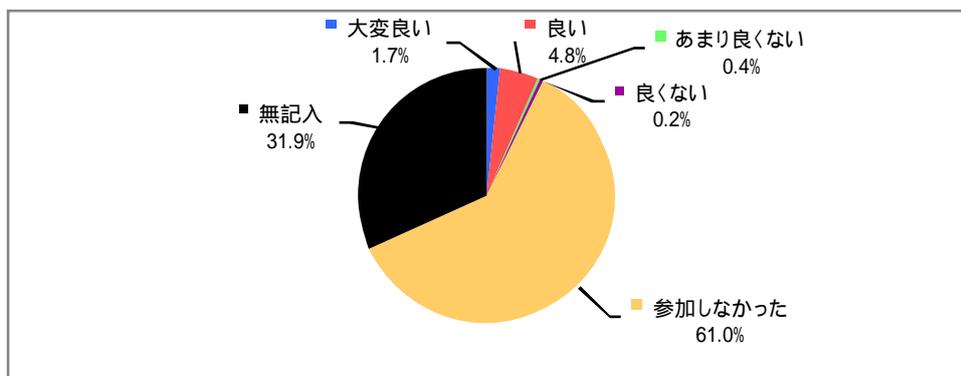
・ミニシンポジウム2: 業務分担、SMOのCRC

	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	5	31	5	2	293	143
構成比	100.0%	1.0%	6.5%	1.0%	0.4%	61.2%	29.9%



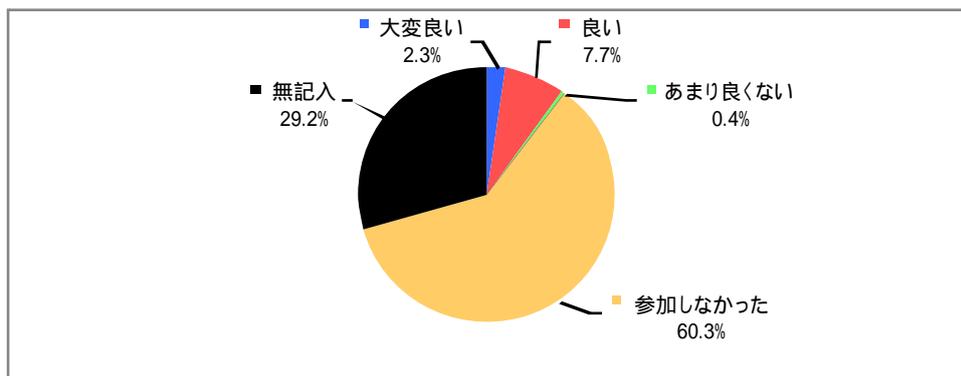
・ミニシンポジウム3: 教育・啓発

	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	8	23	2	1	292	153
構成比	100.0%	1.7%	4.8%	0.4%	0.2%	61.0%	31.9%



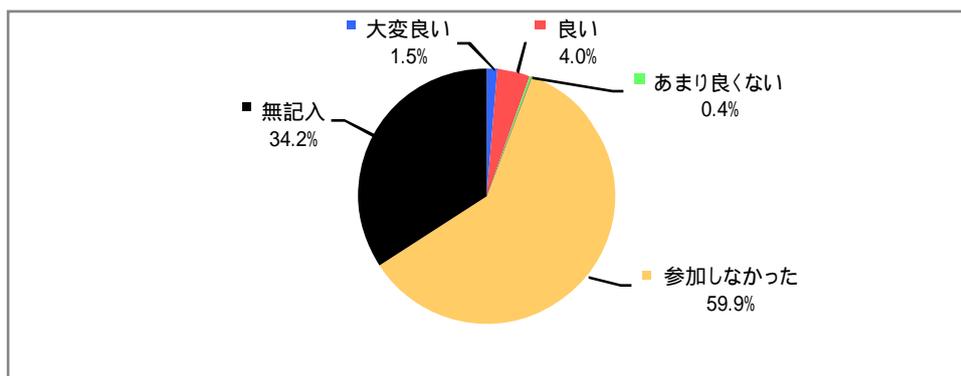
・ミニシンポジウム4: 治験事務局、IRB

	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	11	37	2	0	289	140
構成比	100.0%	2.3%	7.7%	0.4%	0.0%	60.3%	29.2%



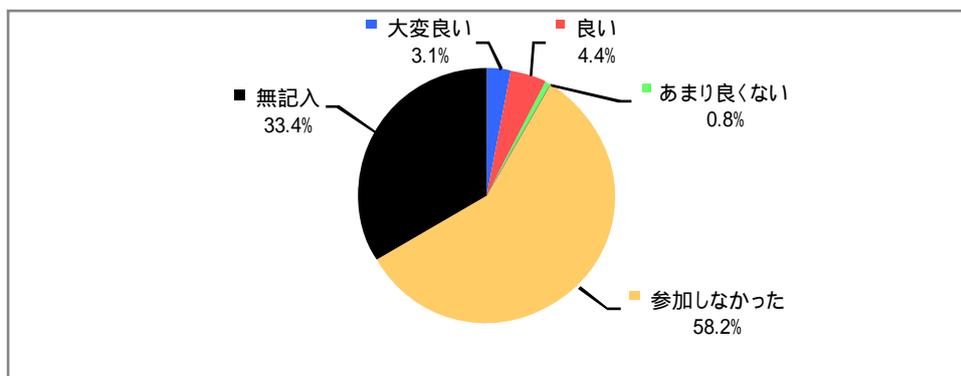
・ミニシンポジウム5: 治験の電子化

	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	7	19	2	0	287	164
構成比	100.0%	1.5%	4.0%	0.4%	0.0%	59.9%	34.2%



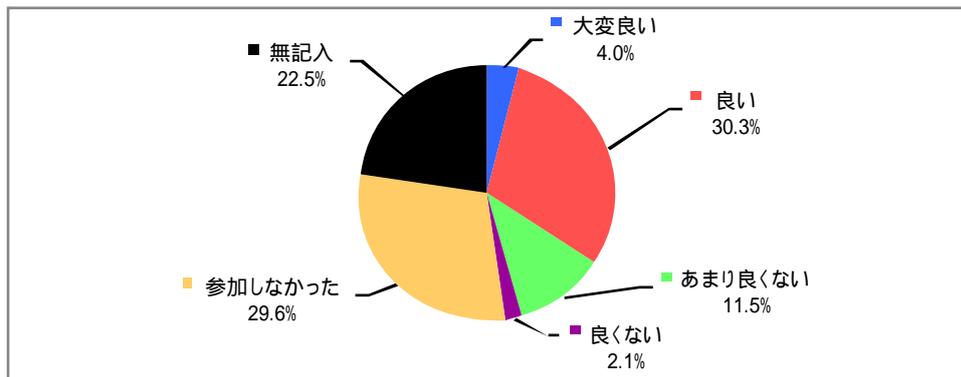
・ミニシンポジウム6: 国際共同治験

	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	15	21	4	0	279	160
構成比	100.0%	3.1%	4.4%	0.8%	0.0%	58.2%	33.4%



・ランチョンセミナー1: 臨床試験データの電子的伝達における標準化の動向とEDC

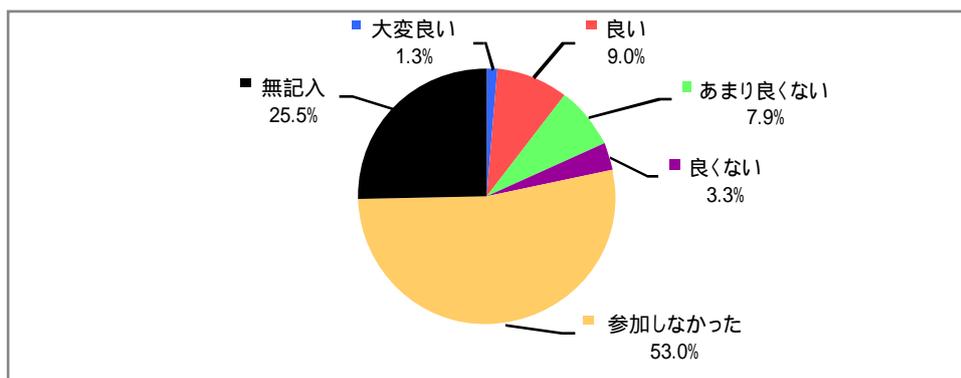
	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	19	145	55	10	142	108
構成比	100.0%	4.0%	30.3%	11.5%	2.1%	29.6%	22.5%



・ランチョンセミナー2: みえてきたSMOの実態 増え続けるCRC

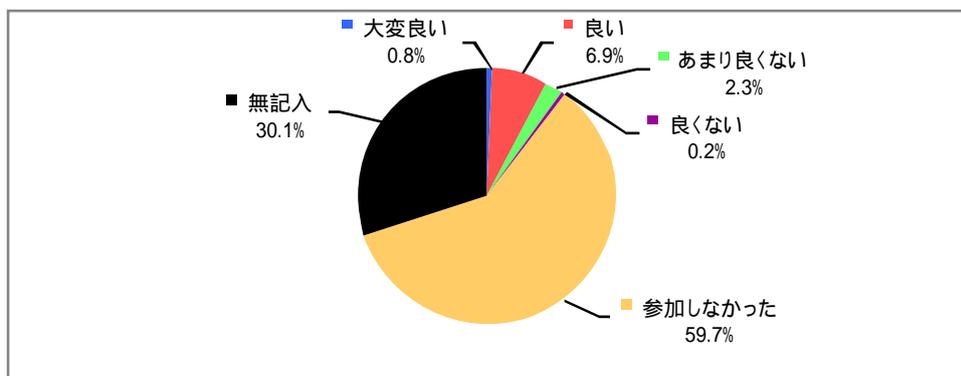
- 「企業アンケート」と「CRCの情報管理システム」から現状と今後の活動 -

	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	6	43	38	16	254	122
構成比	100.0%	1.3%	9.0%	7.9%	3.3%	53.0%	25.5%



・ランチョンセミナー3: 臨床試験の具体例 遺伝子組換え人血清アルブミン製剤のケース ~ 適正使用に向けて ~

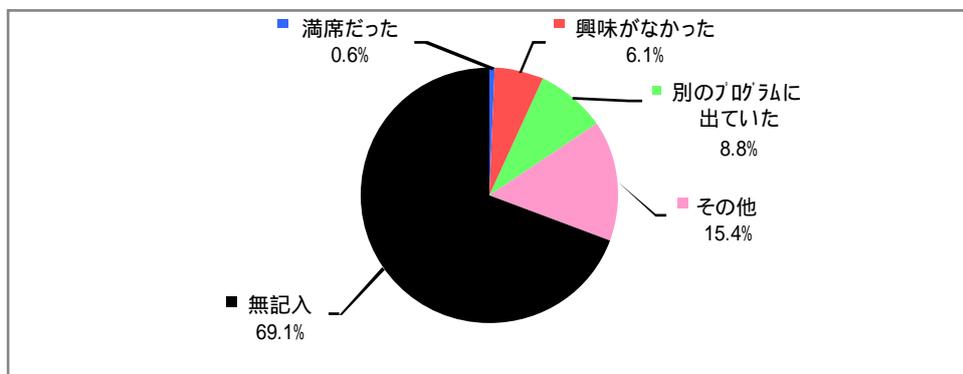
	全体	大変良い	良い	あまり 良くない	良くない	参加しな かった	無記入
回答数	479	4	33	11	1	286	144
構成比	100.0%	0.8%	6.9%	2.3%	0.2%	59.7%	30.1%



11-3. プログラムに参加しなかった理由は？（設問「11-2」で「参加しなかった」と回答した方が対象）

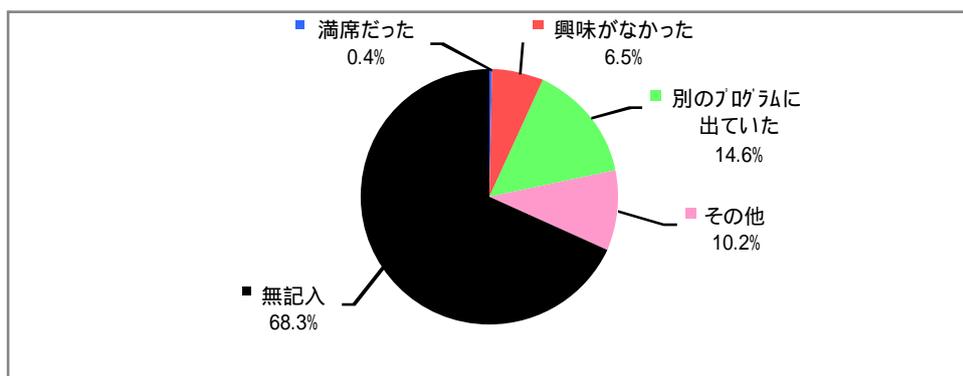
・教育講演1: 臨床研究エビデンスを医療技術評価にどう活用するか 世界の動向とわが国の現状

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	3	29	42	74	331
構成比	100.0%	0.6%	6.1%	8.8%	15.4%	69.1%



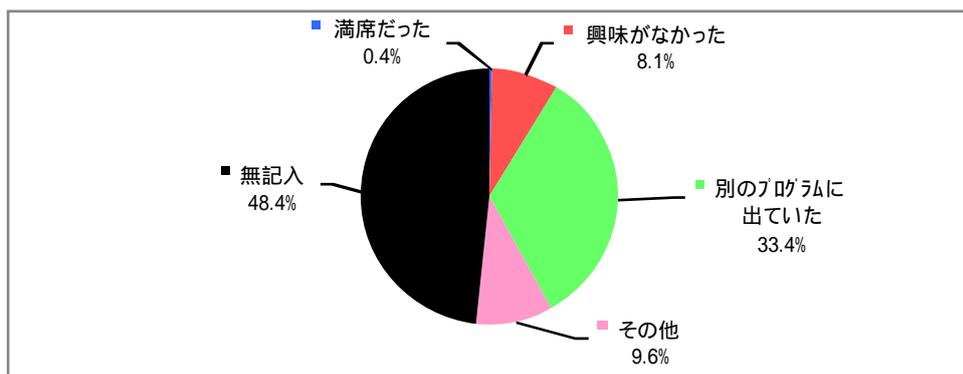
・教育講演2: 厚生労働省・文部科学省から

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	2	31	70	49	327
構成比	100.0%	0.4%	6.5%	14.6%	10.2%	68.3%



・教育講演3: 医療機器治験

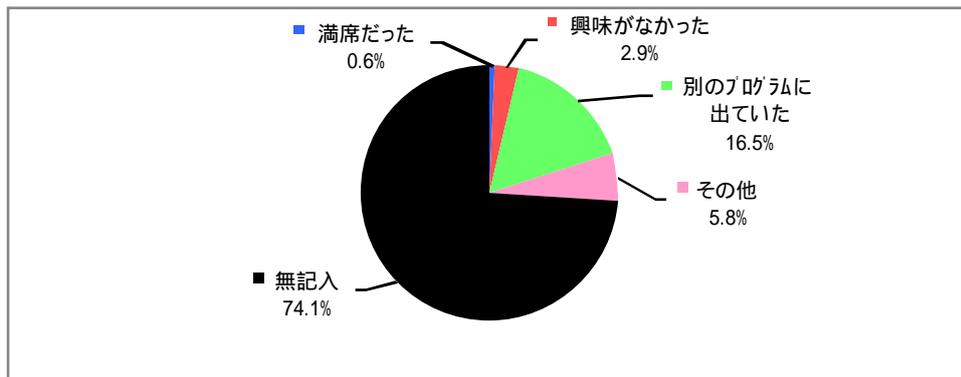
	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	2	39	160	46	232
構成比	100.0%	0.4%	8.1%	33.4%	9.6%	48.4%



・シンポジウム1: 世界の臨床試験の現状とCRCの係わり

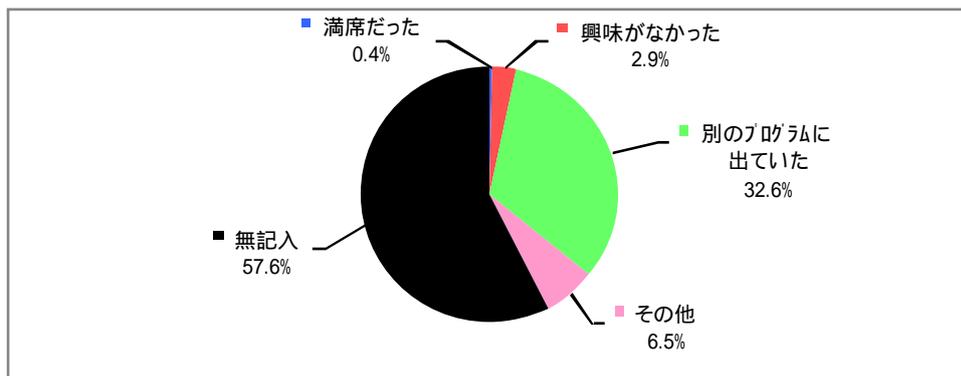
～国際化に向けて日本のCRCの強みと弱点を認識するために～

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	3	14	79	28	355
構成比	100.0%	0.6%	2.9%	16.5%	5.8%	74.1%



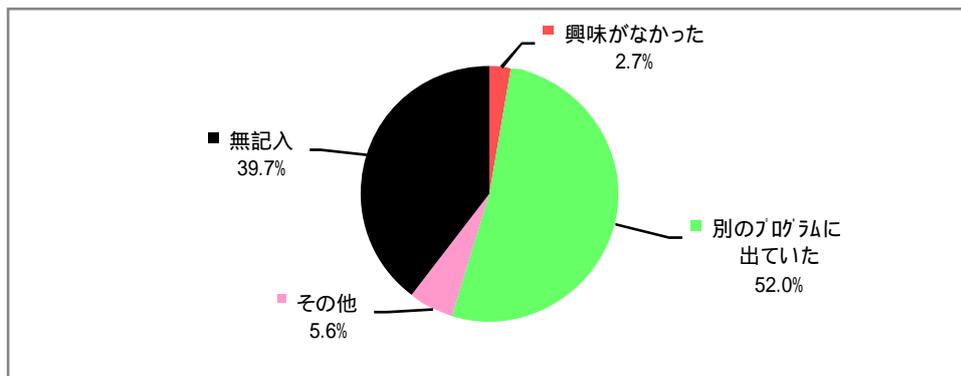
・シンポジウム2: 国際共同治験: 現場に求められること

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	2	14	156	31	276
構成比	100.0%	0.4%	2.9%	32.6%	6.5%	57.6%



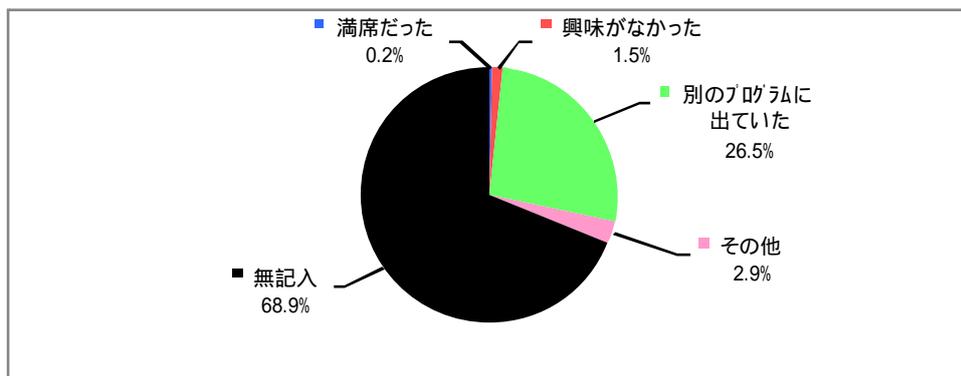
・シンポジウム3: 臨床研究に関わる人材の育成

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	0	13	249	27	190
構成比	100.0%	0.0%	2.7%	52.0%	5.6%	39.7%



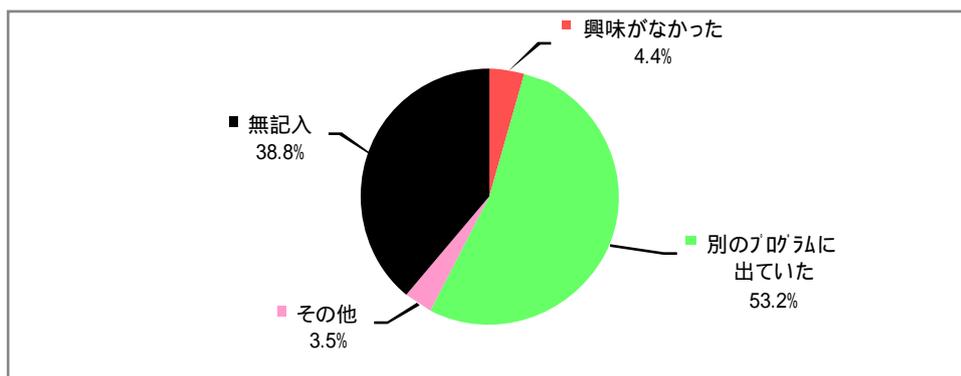
・シンポジウム4: CRCのためのグローバル試験入門～他では聞けないホントの話～

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	1	7	127	14	330
構成比	100.0%	0.2%	1.5%	26.5%	2.9%	68.9%



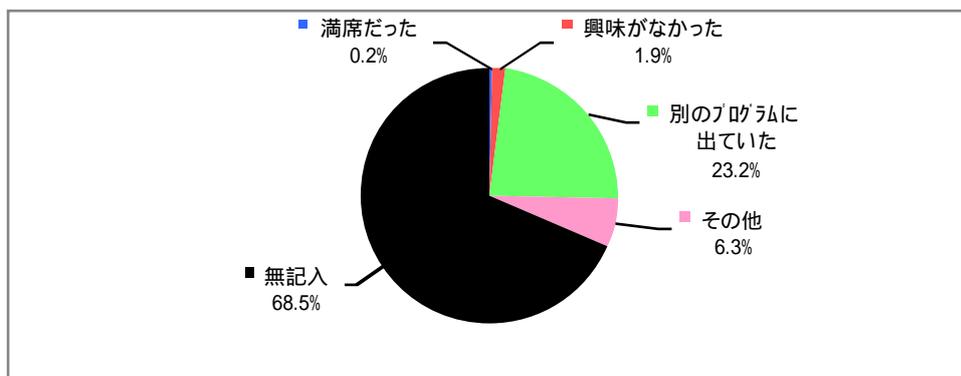
・シンポジウム5: 医師主導治験の実施体制～研究者主導臨床試験への参画を考える～

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	0	21	255	17	186
構成比	100.0%	0.0%	4.4%	53.2%	3.5%	38.8%



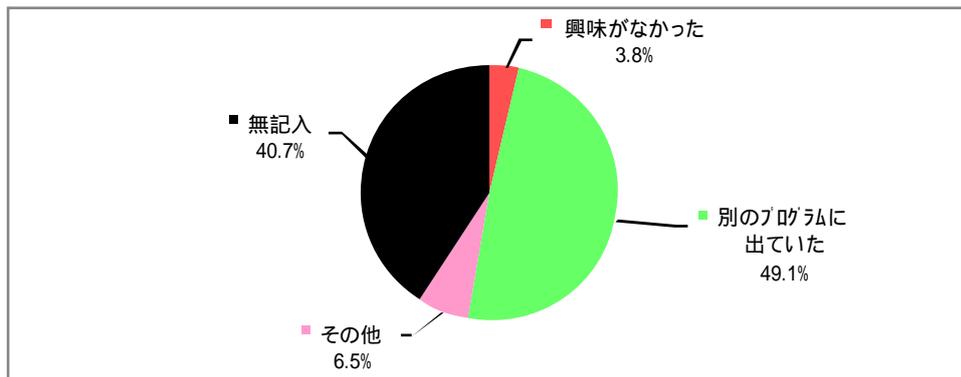
・シンポジウム6: オーバークオリティ～どうする？どうなる？「SDV」と「逸脱」～

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	1	9	111	30	328
構成比	100.0%	0.2%	1.9%	23.2%	6.3%	68.5%



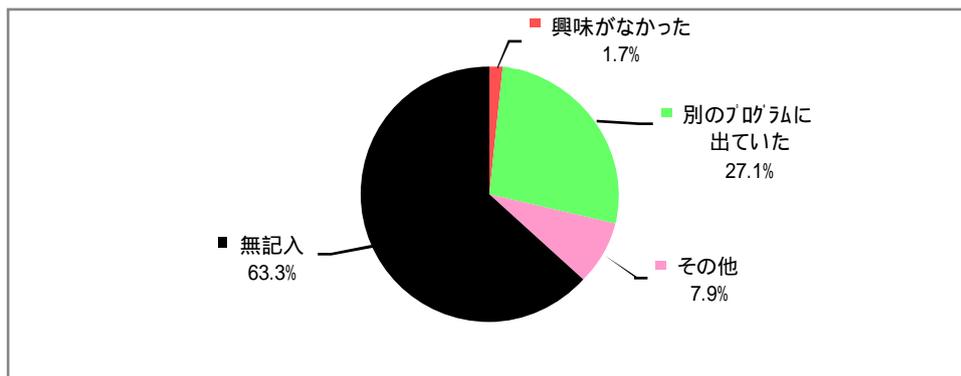
・シンポジウム7: IRB機能の充実～国際共同治験を踏まえて～

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	0	18	235	31	195
構成比	100.0%	0.0%	3.8%	49.1%	6.5%	40.7%



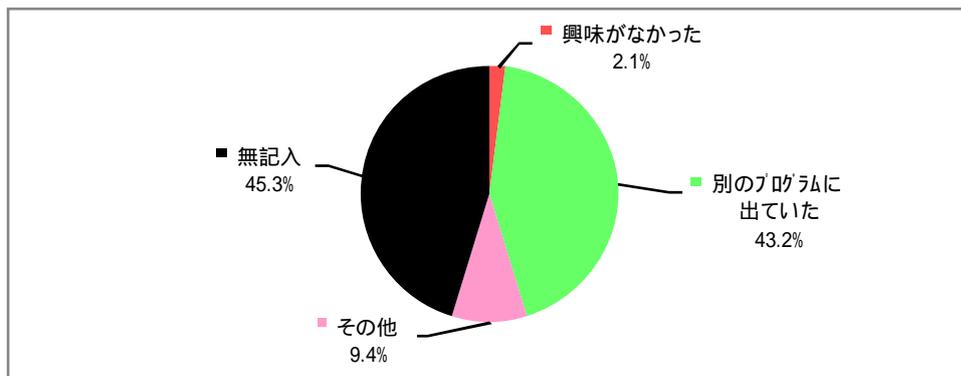
・シンポジウム8: 適正な業務分担

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	0	8	130	38	303
構成比	100.0%	0.0%	1.7%	27.1%	7.9%	63.3%



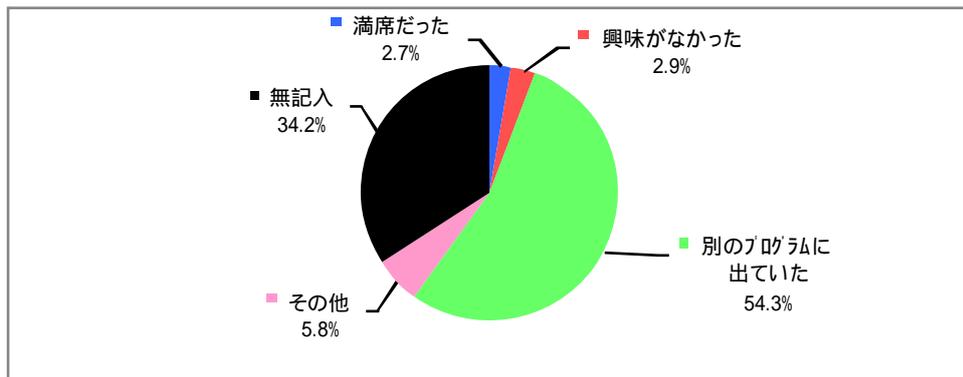
・シンポジウム9: CRCのこれから - 活性化へ向けての環境作り

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	0	10	207	45	217
構成比	100.0%	0.0%	2.1%	43.2%	9.4%	45.3%



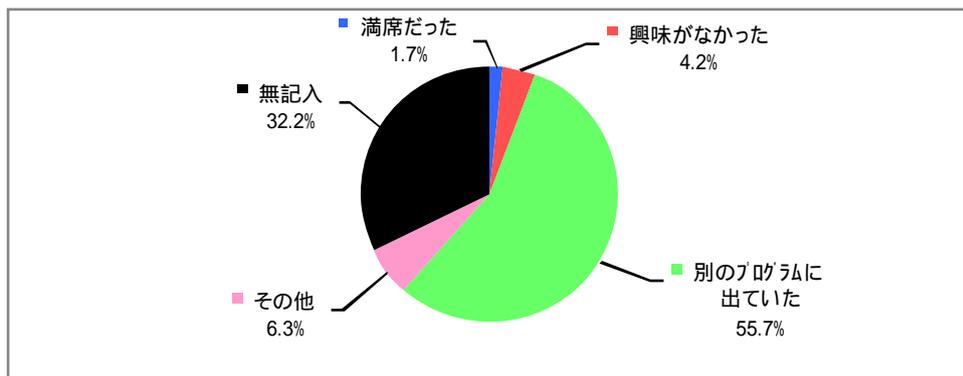
・ミニシンポジウム1: CRC業務上の工夫

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	13	14	260	28	164
構成比	100.0%	2.7%	2.9%	54.3%	5.8%	34.2%



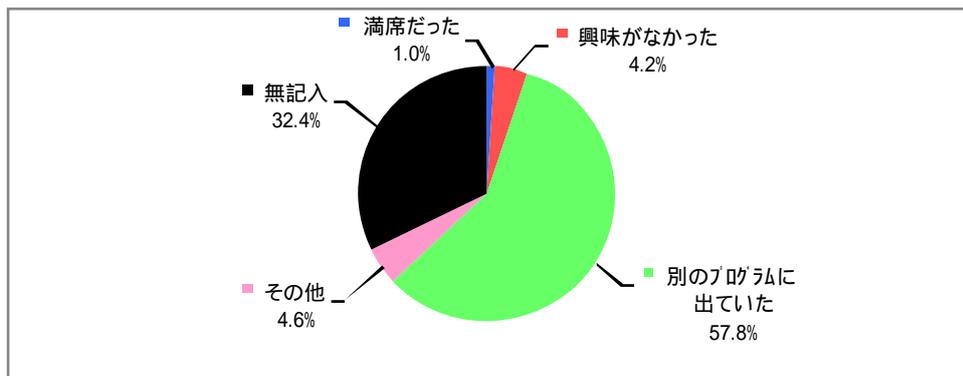
・ミニシンポジウム2: 業務分担、SMOのCRC

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	8	20	267	30	154
構成比	100.0%	1.7%	4.2%	55.7%	6.3%	32.2%



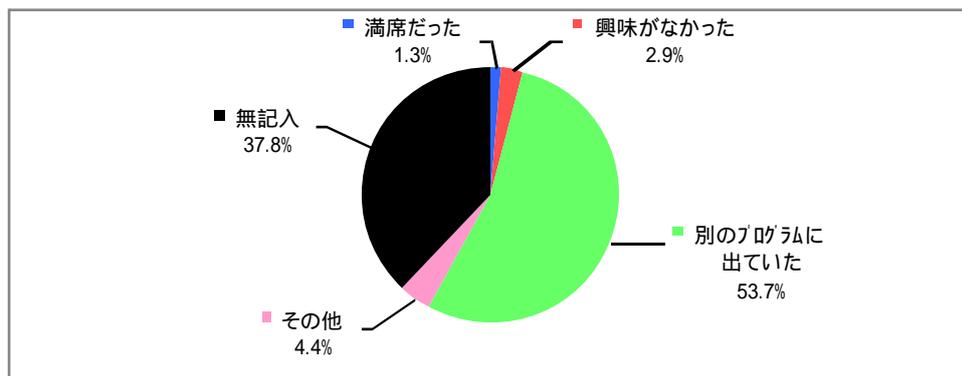
・ミニシンポジウム3: 教育・啓発

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	5	20	277	22	155
構成比	100.0%	1.0%	4.2%	57.8%	4.6%	32.4%



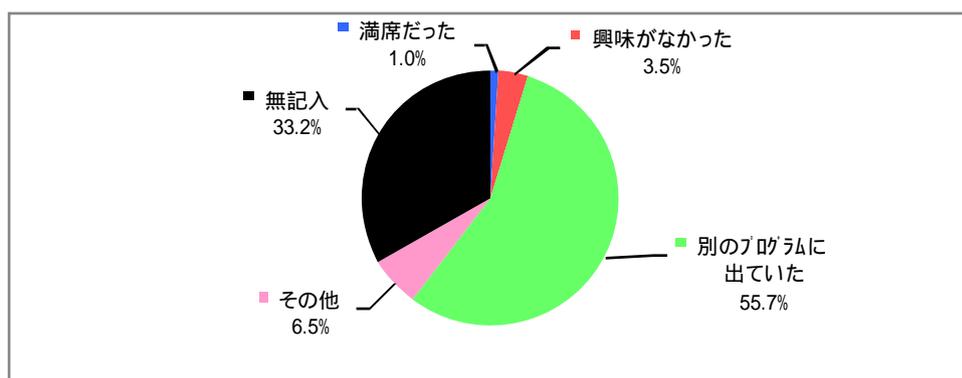
・ミニシンポジウム4: 治験事務局、IRB

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	6	14	257	21	181
構成比	100.0%	1.3%	2.9%	53.7%	4.4%	37.8%



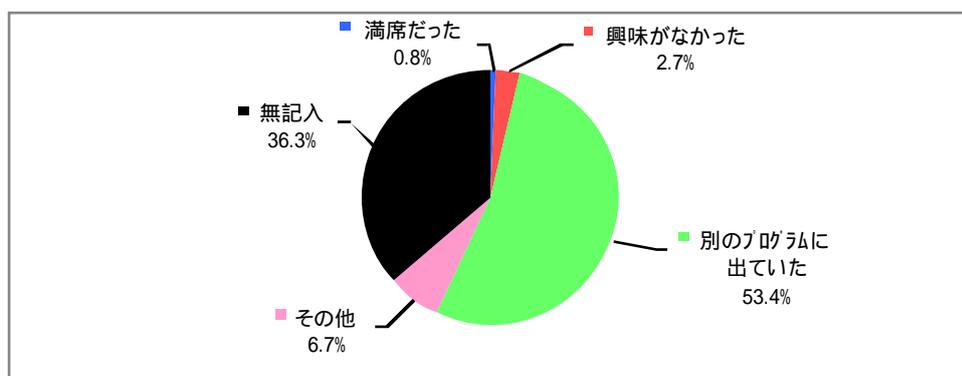
・ミニシンポジウム5: 治験の電子化

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	5	17	267	31	159
構成比	100.0%	1.0%	3.5%	55.7%	6.5%	33.2%



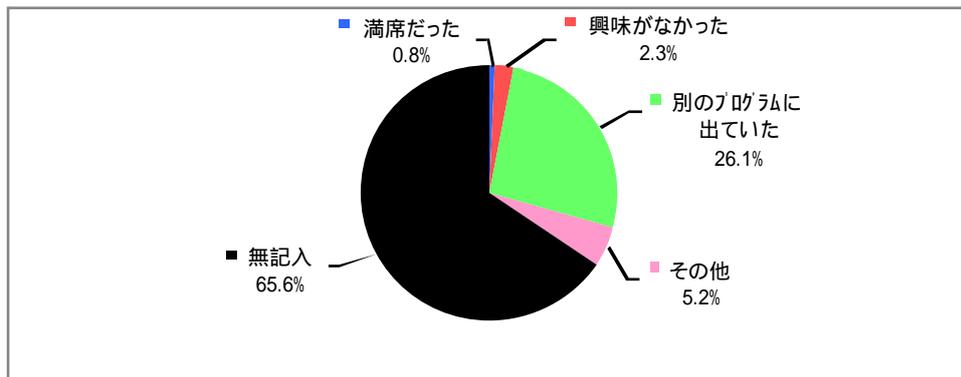
・ミニシンポジウム6: 国際共同治験

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	4	13	256	32	174
構成比	100.0%	0.8%	2.7%	53.4%	6.7%	36.3%



・ランチョンセミナー1: 臨床試験データの電子的伝達における標準化の動向とEDC

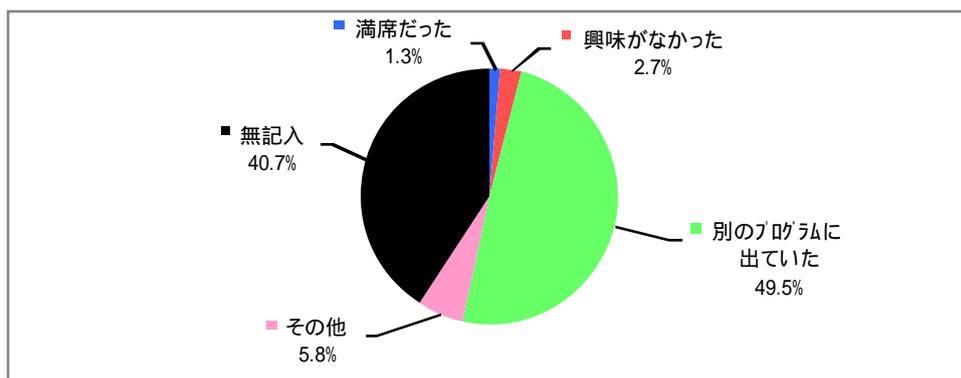
	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	4	11	125	25	314
構成比	100.0%	0.8%	2.3%	26.1%	5.2%	65.6%



・ランチョンセミナー2: みえてきたSMOの実態 増え続けるCRC

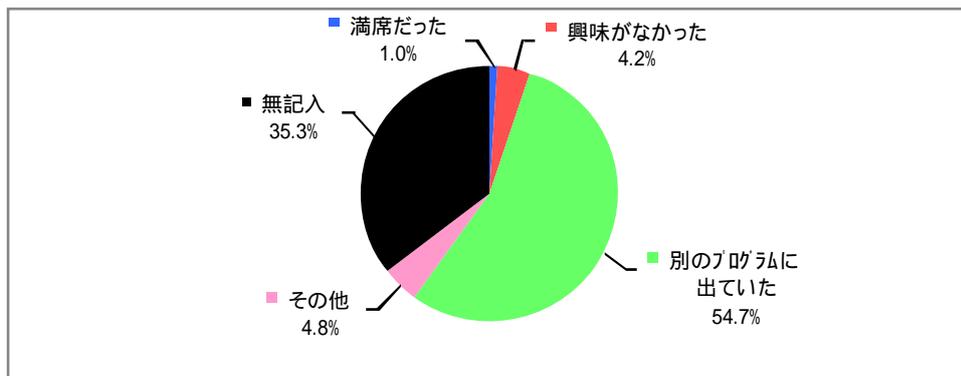
- 「企業アンケート」と「CRCの情報管理システム」から現状と今後の活動 -

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	6	13	237	28	195
構成比	100.0%	1.3%	2.7%	49.5%	5.8%	40.7%



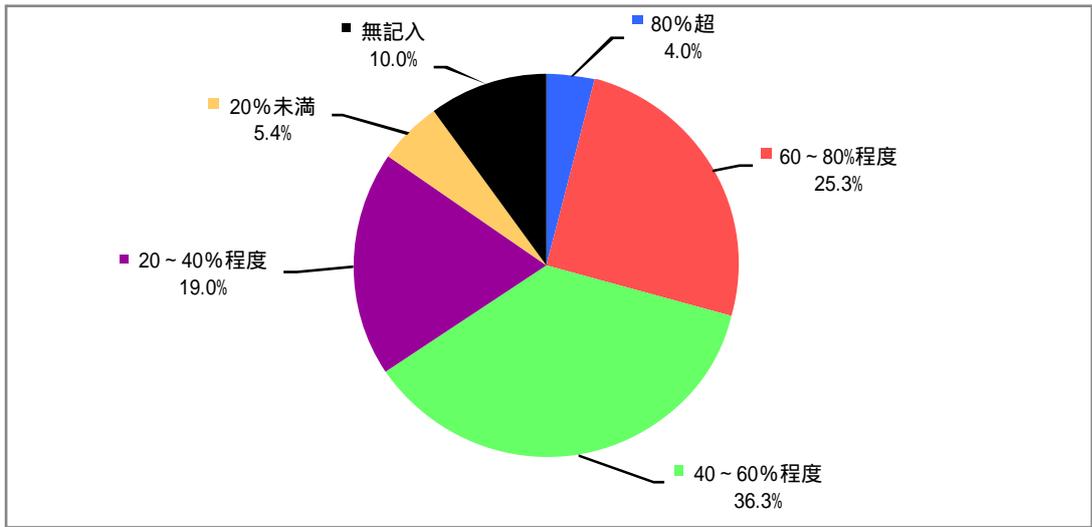
・ランチョンセミナー3: 臨床試験の具体例 遺伝子組換え人血清アルブミン製剤のケース ~ 適正使用に向けて ~

	全体	満席だった	興味がなかった	別のプログラムに出ていた	その他	無記入
回答数	479	5	20	262	23	169
構成比	100.0%	1.0%	4.2%	54.7%	4.8%	35.3%



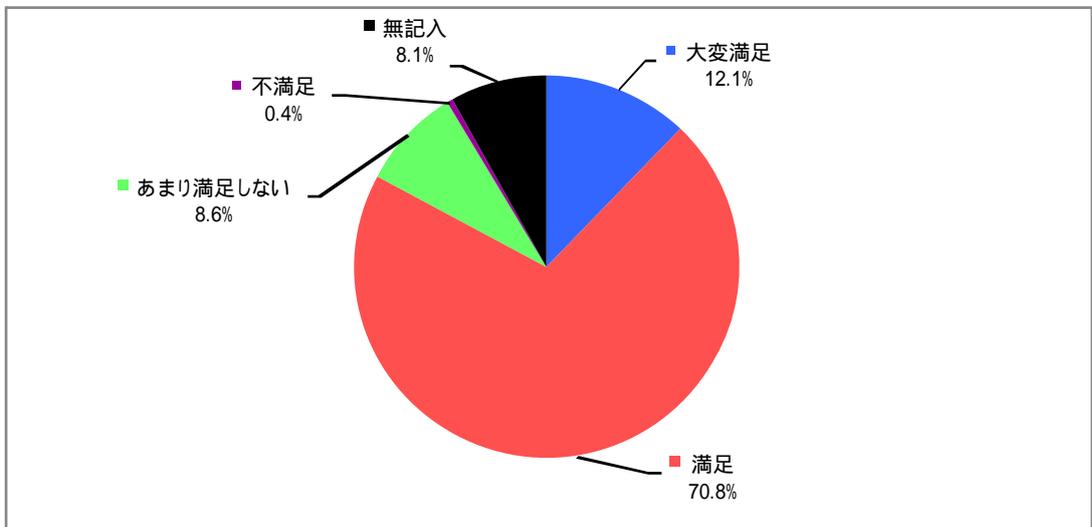
12. 一般演題(ポスター発表)の内容について良いと思う発表はどの程度ありましたか？

	全体	80%超	60～80%程度	40～60%程度	20～40%程度	20%未満	無記入
回答数	479	19	121	174	91	26	48
構成比	100.0%	4.0%	25.3%	36.3%	19.0%	5.4%	10.0%



13. 本会議があなたにとって満足できるものでしたか？

	全体	大変満足	満足	あまり満足しない	不満足	無記入
回答数	479	58	339	41	2	39
構成比	100.0%	12.1%	70.8%	8.6%	0.4%	8.1%



- ・1日目のポスター発表が、シンポジウムなどに出してしまうと見きれない部分があった(もう少し時間があると助かりました)。
- ・会場によって人数が多く、会場がもう少し広がったら良かった。
- ・スタンブラリーの試みは面白かったけれど、一生懸命ポスター発表を見ていたらスタンプを押せる締切が過ぎていた。時間の設定をもう少し長くしてもらいたかった。
- ・ポスターの討論が長くてダラダラした感じがした。一度休憩を入れても良かったと思う(不在の所が多かった)。
- ・国際共同治験がメインテーマなのに、海外からの意見が少なく残念に思った。せめて1人でもシンポジストがいたら良かった。
- ・院内CRCとSMOの融合だけでなく、依頼者とCRCの融合も今のテーマとして挙げたら良いと思う。
- ・演題やポスター発表等もう少し実務に沿った内容が多いと先輩から聞いていたのですが、大きなテーマが多く、もう少し実務に沿った内容があるとCRC歴が短くても面白かったのではと思った。
- ・ランチョンセミナーで開場までの間に長い列ができていたが、整理されていなかったためエスカレーターの前に人がいて危険でした。
- ・ポスター発表では、アンケートの結果報告ばかりで解決策の発表はないし、レベルが低い。
- ・写真撮影を禁止していても撮影している人がいる。禁止するのであれば、シンポジウム開始時にアナウンスしたり、後日スライドをホームページで公開してほしい。シャッター音がうるさい。
- ・題提起ばかりで解決策がほとんどない。希望、要望で終わるのが残念。
- ・席を持ち物で取っているのだから空いていると思って座れない。参加しない時は他の人に席を空けるべきだと思う！！
- ・会議名に「CRC」としか入っていないから、いかにもCRCがメインの会のように思う。CRCとの情報交換は日々できているから、モニターさんの話をたくさん聴きたい。
- ・臨床試験の底上げ日本が発展してゆくためには医師も積極的にこういったシンポジウム、学会に参加してほしい。何か工夫やアピールが必要。医師の認識を変えてこの会をもっと有意義に発展させられたら良いと思う。
- ・どのプログラムでもたいてい時間が足りなくなる。座長が演者の功績や肩書きを紹介するのはある程度必要と思うが、演者が講演冒頭で「このような機会を与えて下さった～」的な感謝の挨拶は不要ではないか。私は言わない人のほうが空気を読める人だなと思っている。
- ・現場のCRCの声が伝わらなかった。現状の問題点をもっとあると思う。困る、困っていることをもっと表現してほしい。CROや依頼者のほうがずっと問題を明確化しているなど思った。
- ・ポスター発表の内容が他の学会に比べると劣る。“学会”ではなく“会議”なので良いかもしれないが、視点をもう少し変えると良いと思うものが多かった。
- ・第一線で働かれている方の発表(シンポジウムetc)も多く、毎年同じ顔ぶれすぎると思う。そろそろ世代交代していかないといけないのではないのでしょうか。
- ・議内容は良かったが、CRCよりモニター(依頼者)に聴いてほしい内容だった。依頼者側の出席が少ないのは、依頼者がCRCの価値を過小評価している表れだと思った。
- ・CRCだけで治験の話をして、良い方向には進まない。
- ・院内CRCが中心にシンポジウムがある気がする。他社のCRCと会ったり、交流できるいい機会だと思う。実際はSMOのCRCが多いのだから、発表者もSMOのCRCを多くしてほしい。
- ・前回までに比べてSMOのことが取り上げられていた点。去年までは、SMOからの参加者も多いのにSMOは対象に入っていないような感じの会議と思った。
- ・事務職の私も何か吸収できるものが果たしてあるのかと不安ながらやってきました。当院に来ていただいているCRCさんの展示を見に行った際、他の方々のポスターも見せていただいたところ、事務職員さんも治験チームの一員として治験業務？に参加されているポスターがあり、医療知識のほとんどない私たちでも治験に貢献することもできるんだな！！と思え、何かワクワクしたのを感じた。

### 【回答者のご意見を拝見して】

アンケートでは、「良くなかった点」と「良かった点」に分けてご回答いただきましたが、同じ企画に対してもご意見が分かれていました。次回に向けての改善ということで、ここでは「良くなかった」という回答を中心に載せました。

特に、目に付いたのは、「ミニシンポジウム会場の狭さ」、「デジタルカメラや携帯電話での撮影」に関するものです。「ミニシンポジウム」については、少人数での討論ができるようにとの目的で会場は狭く設定しました。予想外が参加者数があったことで、ご不満につながったものと思いますが、だからと言って会場を広くすると「ミニシンポジウム」の目的から外れます。なかなか、難しい問題です。

「デジタルカメラや携帯電話での撮影」は、どの学会にも共通した問題です。後での確認や出張報告書作成のときの参考にというのであれば、「全面禁止」にしても完全には守れません。次回の会では、現実的な対応(例えば、企画によっては撮影を許可するが、フラッシュは使用しない)の検討が必要かと思えます。蛇足ながら、広い会場でのフラッシュの使用については、撮影面でほとんど意味がありません。

余談ではありますが、「ランチョンセミナー」の弁当が意外と好評でした。金沢というアクセスには不便なところでの開催ではありましたが、たまには地方開催もいいのでは……とも思いました。

ご意見をお書き頂いた皆様には、改めて感謝いたします。また、すべてのご意見は、今年のプログラム委員会委員にお伝えしました。また、本会議をより発展させるために、次回のプログラム委員の皆さんにもお知らせいたします。ありがとうございました。(会議代表 古川裕之)